

【実施日】

令和5年11月21日(火) 新潟トラックステーション(新潟県新潟市西区山田196-1)

参加者：北陸信越運輸局、新潟県トラック協会、新潟県自動車整備振興会、大型ディーラー 4社

【実施概要】

- ・ 事前に対応可能な運転者が乗車する車両を用いて、啓発チラシの5つのポイントを説明。
- ・ 待機車両及び入場車両に対して、ホイールボルト・ナットの増し締め点検を落ちやすいとされる左後輪の締付具合をトルクレンチを用いて確認し、必要に応じて増し締めを行う。
- ・ 特に、テレビ放送局に取材を依頼し、映像を通じた車輪脱落事故防止を呼びかける。

【実施結果】

- 計33両(ホイール・ナット確認 8両、チラシ配布による周知 25両)に対して啓発を実施。
 - ・ ホイール・ナット確認車両において、締め付け不足の車両1両を確認。
 - ・ 大型車両が多く駐車していたが、睡眠休息中にて、増し締め点検に応じていただけず残念であった。
- NHK、民放4社の取材があり、映像媒体を通じて、車輪脱落事故を未然防止するため、運行前点検、日常点検の確実な履行と重要性について周知を行った。



「お・と・さ・な・い」の
ポイント説明



入場車両 運転者から
タイヤ交換等の聞き取り



ホイール・ナット
締付状況 確認

大型車のタイヤ脱落事故防止を呼びかけ 北陸信越運輸局

11月21日 16時11分



冬の時期にかけてトラックなど大型車のタイヤが走行中に外れる事故が多く発生するため、北陸信越運輸局は21日、新潟市でタイヤに緩みがないか日常から点検するようトラック運転手に注意を呼びかけました。

北陸信越運輸局によりますと、トラックなどの大型車のタイヤが走行中に外れる事故は増加傾向にあり、昨年度は全国で140件、県内でも5件発生しています。

特に、冬用タイヤに交換する11月以降に多く発生していることから、21日、新潟市西区で、北陸信越運輸局や県トラック協会などの関係者、合わせて19人が注意を呼びかけました。

このなかで、担当者はトラック運転手に対し、タイヤの脱落事故を防ぐため、さびたナットの交換や運転前の点検などを求めるチラシを配るとともに、タイヤを交換した時期や場所、点検の有無などを聞き取っていました。そのうえで、トルクレンチという機器を使ってナットが締まっているか確認していました。

40代のトラック運転手は「運行前の点検などには気を付けたい」と話していました。

北陸信越運輸局の自動車技術安全部 山口義典部長は「運転手には運行前に車両を点検することは必須なので、少しでもタイヤの脱落事故を減らしていく意識を持ってもらいたい」と話していました。